

# 「なおしたる プロテクト-リペア」

「NAOSHITARU PROTECT-REPAIR」

「なおしたる プロテクト-リペア」は、使用時に所定量の水を加え、練り混ぜることにより使用できる、プレミックスタイプの表面保護・表面被覆・表面補修材です。今までにないポンプ圧送性能を持ち、付着強度にも優れ、高い無収縮性能、耐中性化、遮塩性を有し、コンクリート(モルタル)構造物の表面保護・表面被覆(中性化対策、塩害対策)、表面ひび割れ補修等幅広い分野で使用することができます。

## 特 長

1. 適切なポンプ機種、機材の選定により、70m以上のポンプ圧送が可能で、施工範囲が広がるため、さまざまな分野に使用することができます。
2. 湿式吹付け工法、左官工法のいずれの施工方法も用いることができます。
3. 高強度性、乾燥収縮抵抗性、耐中性化性、遮塩性、凍結融解抵抗性を有しています。
4. 練混ぜ水量の調整により、コンシステンシーを変えることで、 $t=1\sim 5\text{mm}$ の厚さで施工することができます。

## 用 途

- コンクリート(モルタル)構造物の表面保護、表面被覆、表面補修
- 水路の表面被覆・表面補修
- 断面修復後の表面平滑仕上げ
- コンクリート面、モルタル面の不陸調整

## 仕 様

1袋あたりの練上り量		1㎡あたりの使用量		1袋あたりの施工面積 (㎡)	可能施工厚さ (mm)
水 (kg)	練上り量 (kg)	「なおしたる プロテクト-リペア」 (kg)	水 (kg)		
3.1	10.5	1920kg (20kg × 96袋)	299	( $t=2\text{mm}$ の場合) 5.3	1～5

※仕様水量は、ポンプ圧送(50m以上)での練混ぜ水量です。練混ぜ水量は、施工部位、施工厚さ、圧送距離等により、1袋あたり2.6～3.5kgの範囲で調整してください。

※左官工法の場合は、1袋あたり2.6～3.1kg(標準水量：2.9kg/袋)の水量範囲で調整してください。

## 施工方法

1. 必ず施工部位、ポンプ圧送距離、工法、環境温度等により、練混ぜ水量を調整してください。
2. ポンプ圧送で施工する場合、圧送距離により、適正な能力のポンプを準備してください。
3. 施工面に粉分、油分等汚れがある場合は、付着性能を阻害する場合があります、必ず施工面を洗浄してから、施工してください。
4. 施工面乾燥により、モルタルの水分が吸水される恐れがある場合は、プライマー塗布、水湿し等吸水防止対策をしてください。
5. 「なおしたる プロテクト-リペア」の練混ぜは、ハンドミキサまたはパン型ミキサを用い、練混ぜ時間120～180秒を目安に練混ぜたのち、湿式吹付け工法または左官工法で施工してください。
6. 施工後、風等の影響で極度に乾燥が予想される場合は、養生対策をしてください。

## 物性試験例

水量 (kg/袋)	練上り温度 (°C)	フロー (mm)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )		曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	長さ変化
			7日	28日	28日	28日	28日
3.1	20	198	37.9	58.2	8.78	2.98	-245 × 10 <sup>-6</sup>

フ ロ ー : JIS R 5201 (セメントの物理試験方法 11.フロー試験)を準用 フローコーンを引き上げた時のフロー値

圧 縮 試 験 : JIS A 1108 (コンクリートの圧縮強度試験方法)を準用 養生条件: 標準養生

曲 げ 強 度 : JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)を準用 養生条件: 標準養生

長 さ 変 化 : JIS A 1129 (モルタルおよびコンクリートの長さ変化試験方法)による

付 着 強 度 建研式 (300×300×50mm コンクリート平板母材 t=5mm WJ 下地処理) 養生条件 20°C、湿度 60%、気乾養生

## 包装形態

20kg入 防湿袋

### 使用上の注意事項

1. 使用前に必ず、安全データシートを読み、取扱う。
2. 本製品を使用するときは、飲食・喫煙をしないこと。
3. 取扱い後は、手を良く洗うこと。
4. 保護手袋・保護メガネ・防塵マスクを着用すること。
5. 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
6. 眼に入った場合は、水道水で15分以上洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。
7. 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合は、水道水で洗浄すること。
8. 発疹が生じた場合は、医師の診察、手当を受けること。
9. 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
10. 保管は、直射日光を避け、湿気のない室内に保管すること。
11. 内容物、容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## なおしタル工法研究会



株式会社ニューテック

〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9

TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687

<http://www.kknewtech.co.jp/> E-mail [info@kknewtech.co.jp](mailto:info@kknewtech.co.jp)